

第4回江南市協働のまちづくり推進協議会 会議要旨

会議名：第4回江南市協働のまちづくり推進協議会

開催日時：令和6年10月1日（火）午後3時30分から午後5時まで

場所：江南市地域交流センター 会議室2

委員：出席委員7名

- 佐藤 正之（学識経験者）
- 小畑 勝士（江南商工会議所）
- 渡邊 葉月（江南金融協会）
- 中村 祥（市民活動団体関係者）
- 坂口 悦子（市民活動団体関係者）
- 佐野 宴（市民活動団体関係者）
- 中村 健一（市民活動団体関係者）

事務局：平松 幸夫（企画部長）

矢橋 尚子（企画課長）

吉井 陽一（企画課 政策・協働グループリーダー）

白木 淳也（企画課 政策・協働グループ）

江南市地域交流センター運営等業務受託者出席者2名

資料1 江南市地域交流センターの運営状況について

資料2 令和7年度江南市地域まちづくり補助事業 募集要領

資料3 令和7年度江南市地域まちづくり補助事業審査要領（案）

資料4 協働のまちづくりとSDGsの取組について

議題	(1) 江南市地域交流センターの運営状況について (2) 江南市地域まちづくり補助事業について (3) 協働のまちづくりとSDGsの取組について
----	--

会長挨拶

議題

(1) 江南市地域交流センターの運営状況について

○事務局から、地域交流センターの利用状況、実施事業、今後の運営方針について説明がありました。

委員	令和6年度に新規登録された市民活動団体の主な活動内容を教えてください。
事務局	新規登録団体の活動内容につきましては、子どもの健全育成分野では、不登校などの児童及びその親が悩みなどを相談できる場を提供する2団体、無償で学習支援を行う1団体、環境保全分野では、木曾川中流域などの美化清掃する団体、まちづくり分野では、児童館のおもちゃ作りや家具転倒防止のお手伝いを行う団体、保健・医療・健康分野では、高齢者を中心に交流の機会を創出する団体、その他分野では、特定のジャンルに限定せずボランティア活動を行う団体です。
会長	デジタル活用による情報発信について、フォロワー数等について目標値を設けているのでしょうか。
事務局	具体的な数値目標は設定しておりません。フォロワー数等の利用状況については随時確認し、多くの方に利用いただけるよう努めてまいります。
会長	地域交流センターの令和8年度以降の運営方法は決まっていなかったのでしょうか。
事務局	令和5年度から7年度までは業務委託で運営し、その間に最適な運用方法を検討していく方針で進めてまいりましたが、他の運営方法を検討するには現時点で情報量が不足しており、現行の業務委託であれば国の交付金が延長できることから令和8年度、令和9年度については、引き続き業務委託で運営することを考えています。

(2) 江南市地域まちづくり補助金について

○事務局から、江南市地域まちづくり補助事業の概要説明、地域まちづくり補助事業審査委員の推薦がありました。次に審査方法について、事務局から説明がありました。

委員	事業者の要件については、前回のこの協議会で検討された事項が反映されたという認識でよろしいでしょうか。
----	--

事務局	ご認識のとおりです。昨年度は新たに 40 団体が市民活動団体として登録されたこともあり、より多くの団体にこの補助金を活用していただくため、採択回数の上限を改めています。
委員	近年は多くの応募はなく、既にこの補助金を活用した団体でも、その後さらに素晴らしい活動をするこゝもあゝると思ひます。2回目、3回目の場合は審査項目を追加したりすることもできると思ひるので団体の要件については検討を続けていただひきたいです。
事務局	今回から各コースの補助期間を単年度に変更してひますので、今後は制度の見直しを行ひやすくなりました。補助制度のあり方については引き続き検討してまひります。また、今回から制度や申請方法についての説明会の開催、応募相談会の随時受付、審査及び成果報告方法の変更を行ひ申請団体の負担を軽減する見直しを行ひてひます。
委員	連携コースにおひいても過去にこの補助コース採択された団体については連携先の団体を変更しても申請出来ないという認識でよろしいでしょうか。
事務局	ご認識のとおりです。
委員	連携コースの変更は、今後様々な団体との連携を促さないということでしょうか。
事務局	団体を変えて申請することはできませんが、補助金制度以外の面で、団体が他団体や民間事業者と連携しやすくなる官民連携の仕組みを構築することなどで団体を支援してまひりたいと考えてひます。
委員	審査方法については、申請された書類に基づき、公開審査会で申請者に質問して審査するという認識でよろしいでしょうか。
事務局	ご認識のとおりです。
委員	審査方法の変更は、申請者への負担軽減を目的とするものでしょうか。
事務局	ご認識のとおりです。昨年までの公開審査会は、プレゼンテーション形式で行ひてひましたが、申請者の負担軽減の観点から簡素化したものです。
会長	審査結果はどのように報告するのでしょうか。
事務局	公開審査終了後に、公開で結果報告を行ひます。

(3) 協働のまちづくりと SDGs の取組について

○事務局から地域交流センターを拠点とした SDGs の目標達成に向けた取組について説明がありました。

会長	具体的に、今後どのような取組、活動が行われていくのでしょうか。
事務局	これまでは、市民活動団体等と行政が繋がり、市民活動団体の活動を支援していくことを主に取組みとしてきました。しかし、最近では行政だけの支援では行き届かない課題が多くあり、市の補助金も予算に限りがあり、どこまで支援できるのかという問題がございます。そこで、今後は例えば民間企業にも関わっていただくため、江南市 SDGs 登録制度などを設けます。近隣の市民活動センターでは、民間企業の会議室や空きスペースを使用しない時に、市民活動団体にシェアして、そこで団体がワークショップを行ったり、企業が地元の方向けに研修を実施する事例がございます。企業にとっても地域貢献、社会貢献の機会となり、団体にとっては、資金や活動場所の不足を解決につながる仕組みです。こういった官民連携プラットフォームと言われる Web 上のシステムを通じてマッチングさせる取組みは、他の自治体でも既に行われているところですが、なかなかうまく機能しにくいところが見受けられます。当市では、地域交流センターにコーディネーター等の配置を行うことで Web 上での受け身のマッチング支援だけでなく、資源を掘り起こしにいくプッシュ型の支援を行う仕組みを構築します。まずは、行政と民間企業や各団体と連携し、ゆくゆくは市民活動団体等にも広げていく予定です。
委員	SDGs 登録制度は 10 月 10 日から開始されるということだがどのように周知されているのでしょうか。
事務局	既に市広報には掲載しています。今回は第 1 期募集であり主に課題を解決してくれる方、資源を提供できる企業や大学等を中心にアプローチを予定しています。また、10 月に行われる環境フェスタ等のイベントへもブース出展して周知していく予定です。
委員	SDGs 未来都市と SDGs モデル事業について説明していただきたいです。また、SDGs の取組についての協議会があるのかと、この協議会の SDGs の取組に対する位置付けについて説明していただきたいです。
事務局	SDGs 未来都市、SDGs モデル事業とは、国にエントリーをして承認される制度で、SDGs 未来都市は全国の自治体の中でも SDGs に先進的に取り組もうという提案のあった市町村が選定されます。今年は全国で 24 団体ございました。その中でも特に先導的な取り組みをしようとする

	<p>団体は自治体 SDGs モデル事業ということで、24 団体の中からさらに 10 団体が選ばれ、その中に江南市が愛知県で初めて選定されました。計画の内容は SDGs の 3 要素である経済、環境と社会という 3 側面を、全部最適に推進していこうというもので多岐にわたります。個別の取組として、例えばゼロカーボンやジェンダー平等といった取り組みはありますが、それらを推進していくために江南市では官民連携での取り組みが必要となるため、まずはその仕組みを構築するというのが今回の自治体 SDGs モデル事業の内容となります。SDGs を進めるための協議体も別で作る予定ですが、この協議会の中でも市民協働や市民活動団体がどう関係していくのかなどご意見をいただきたいと考えています。</p>
委員	<p>この事業の予算規模はどの程度でしょうか。</p>
事務局	<p>SDGs モデル事業に選定されたことから、今年度については国からこの事業の啓発部分については全額、プラットフォーム構築部分については 2 分の 1 の補助がございます。今年度のプラットフォーム構築部分については、1 千万円程度となっています。事業計画としましては、3 年計画になりますが、国から補助が出るのは今年度のみとなっています。次年度以降については、この事業にご賛同いただける企業からの寄附等も募ってまいりたいと考えています。</p>
会長	<p>コーディネーターの役割は何でしょうか。</p>
事務局	<p>コーディネーターについては、受身で対応するのではなく、外に出ていただいて課題を掘り起こす、資源やサービスを見つけてきてマッチングの機会を提供するアウトリーチ的な役割を持っていただく予定です。</p>
会長	<p>質疑等も尽きたようですので、事務局においては、今の内容を踏まえた対応をお願いしたいと思います。</p>

江南市地域交流センターの運営状況について

1 令和6年度の状況

◎ 稼働率

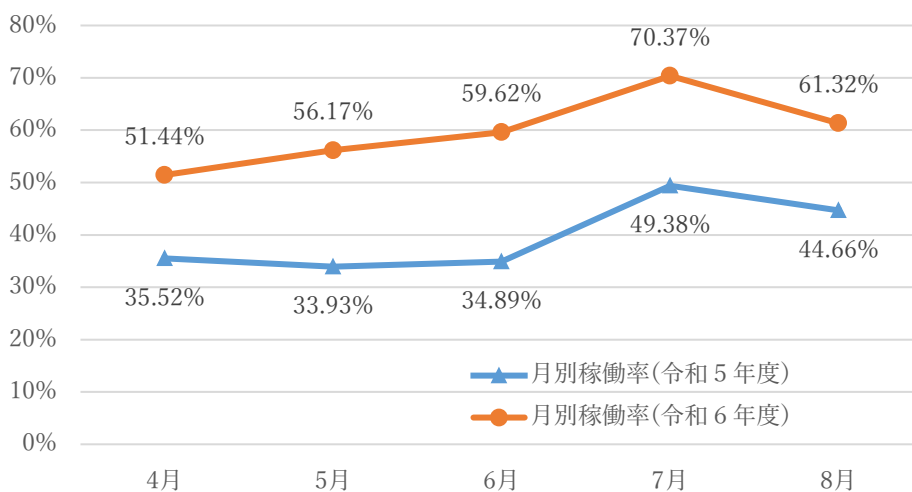
・令和6年度の状況（4月～8月）

	総区分数	営利利用区分数	非営利利用 区分数	計	月別稼働率
4月	486	38	212	250	51.44%
5月	486	33	240	273	56.17%
6月	468	40	239	279	59.62%
7月	486	20	322	342	70.37%
8月	468	33	254	287	61.32%
計	2,394	164	1,267	1,431	
稼働率		6.85%	52.92%	59.77%	

・令和5年度実績（4月～8月） ※年間稼働率 46.02%

	総区分数	営利利用区分数	非営利利用 区分数	計	月別稼働率
4月	504	3	176	179	35.52%
5月	504	12	159	171	33.93%
6月	450	32	125	157	34.89%
7月	486	43	197	240	49.38%
8月	468	43	166	209	44.66%
計	2,412	133	823	956	
稼働率		5.51%	34.12%	39.64%	

・稼働率の比較（令和5年度・令和6年度）

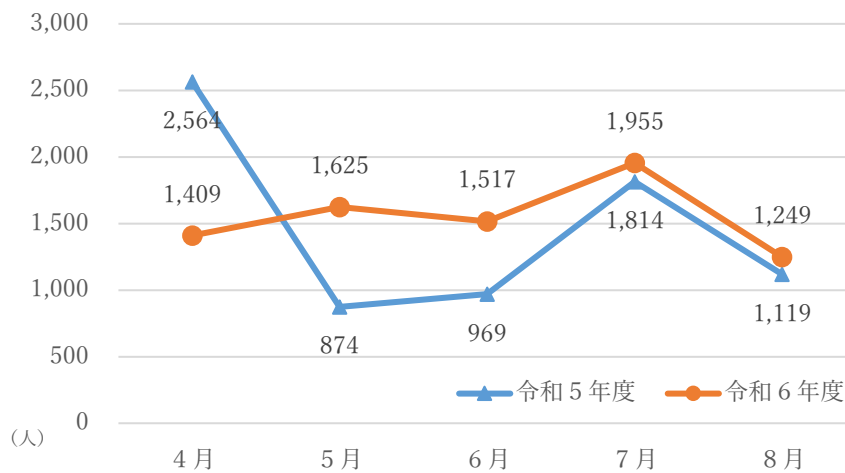


◎ 利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	計
令和6年度	1,409	1,625	1,517	1,955	1,249	7,755
令和5年度	2,564	874	969	1,814	1,119	7,340

・ 利用者数の比較（令和5年度・令和6年度）



◎ 市民活動団体の新規登録数

(単位：団体)

	4月	5月	6月	7月	8月	計
令和6年度	2	1	2	2	0	7
令和5年度	7	3	5	3	0	18

※令和5年度年間実績：40団体

◎ デジタル活用による情報発信の状況

令和6年8月末現在

閲覧数 (回)	SNS フォロワー数 (人)			
	X	Instagram	Facebook	LINE
18,357	90	278	33	61

※LINEは令和6年6月から運用開始

(参考 令和6年3月末時点)

閲覧数 (回)	SNS フォロワー数 (人)		
	X	Instagram	Facebook
37,948	67	233	26

2 駅前広場の利用状況

◎駅前広場の貸出日

令和5年度：金、土、日曜日及び年末年始を除く祝日（週3日）

令和6年度：月、水、金、土、日曜日及び年末年始を除く祝日（週5日）

◎駅前広場稼働率

令和6年度（4月～9月） 稼働率平均：16.77%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
駅前広場 利用可能日	21日	22日	22日	22日	22日	22日
駅前広場 利用数	3日	3日	3日	4日	6日	3日
駅前広場 利用率	14.29%	13.64%	13.64%	18.18%	27.27%	13.64%

令和5年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
駅前広場 利用可能日	14日	14日	13日	15日	12日	15日
駅前広場 利用数	8日	1日	4日	3日	3日	4日
駅前広場 利用率	57.14%	7.14%	30.77%	20.00%	25.00%	26.67%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
14日	13日	13日	13日	13日	15日	164日
8日	3日	2日	3日	2日	2日	43日
57.14%	23.08%	15.38%	23.08%	15.38%	13.33%	26.22%

◎今後の運用方針

駅前広場の利用状況については、毎月特定の団体が月2回利用する程度にとどまっていることから、今後はキッチンカーや移動販売といったモビリティビジネスを総合的に支援する事業*を実施している民間事業者と連携し、駅前広場の稼働率向上、運用方針の検討を進める。

また、10月下旬以降に名鉄高架下のテナント施設がオープンすることから、そちらの動向を踏まえ運用を検討していく。

※事業：民間事業者がキッチンカー等を出店したい事業者を募集し、取りまとめて出店先を提供するサービス。

3 主な実施事業・関連事業（令和6年4月～8月）

毎週水曜日	スマホ・パソコン初心者相談会 （8月末までに20回開催、117名参加）
毎月1回	複合公共施設内機能連携会議
年間4回	情報誌の発行 ※配布資料
随時	布袋駅東駅前広場 イベント等利用
随時	サイネージ、ホームページ、SNSでの情報発信
随時	コミュニティカフェ ・令和6年7月から試験運用を開始（2回開催） ・団体間、自治会間を繋げ、相互の課題共有、解決を目的とする。
5月4日（土）	第1回彩色まちづくりゼミナール 江南市地域交流センター1周年及び市制70周年を記念して3部構成で開催。 テーマ「いろいろな人とかかわりながら「生きる」について考える日」 ①東日本大震災を仙台で実体験したママが語る！防災セミナー ②生きていく意味、命の大切さ～芸能界に生きて、母との確執をといて～ ③映画「いちばん逢いたいひと」上映会 （①31名、②44名、③44名 延べ119名）
	第1回ひと・コトこうなんマルシェ ※彩色まちづくりゼミナールと併催 市民活動団体を紹介する掲示
7月9日（火）	第2回彩色まちづくりゼミナール テーマ「自治会・町内会の運営お役立ちセミナー」（29名）
8月12日（月・祝）	第2回ひと・コトこうなんマルシェ ※ <u>社会福祉協議会のこども食堂</u> と共催 ①市民活動団体を紹介する掲示及び②ワークショップの開催（②112名）

4 今後の主な実施事業（予定）

10月1日（火）～ 11月30日（土）	令和7年度分まちづくり補助事業募集 募集説明会：10月5日（土）19：30～20：30 10月18日（金）11：30～12：30 応募相談会：～11月30日（土）予約制
令和6年10月18日（金） 11月15日（金） 12月20日（金） 令和7年 1月17日（金） 3月 8日（土）	江南まちづくり Labo57 高校生・大学生の方を対象に、江南市の魅力などについて、気軽に話し合い、考えるためのワークショップ（全5回）
11月16日（土）	第3回彩色まちづくりゼミナール テーマ「やりたいことの一步を踏み出そう」 対象：市民活動・ボランティアに興味のある方 市民活動に携わっている方
	第3回ひと・コトこうなんマルシェ ※彩色まちづくりゼミナールと併催 市民活動団体を紹介する掲示、ワークショップ
令和7年1月11日（土）	令和7年度分まちづくり補助事業公開審査会
3月8日（土） 場所：Home&nico ホール	【仮】江南市 SDGs フォーラム ・市制70周年記念まちづくり補助事業の成果報告（掲示） ・【未定】江南まちづくり Labo57 成果発表 ・【未定】令和6年度まちづくり補助事業成果発表（エコすく（ecology school）＜3年目＞）
3月中旬	【仮】第4回ひと・コトこうなんマルシェ ・【未定】市制70周年記念まちづくり補助事業の成果報告（掲示）及び発表（希望団体のみ）

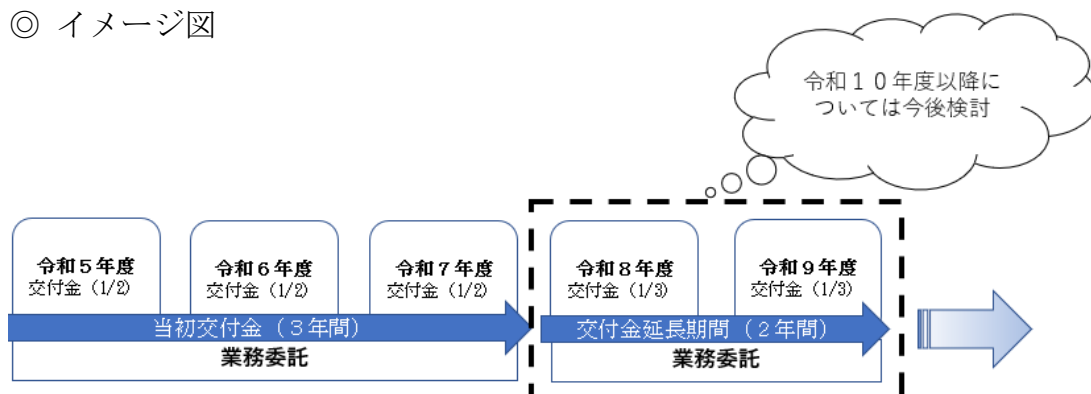
5 地域交流センターの今後の運営手法について

地域交流センターは、令和5年度から令和7年度までデジタル田園都市国家構想交付金（補助率1/2）を活用し運営を開始したが、交付期間を2年間延長する要件（企業版ふるさと納税の獲得）を満たしたことから、令和8年度及び令和9年度の交付金（補助率1/3）も申請が可能となった。

また、本市は国から「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定され、今後は地域交流センターを拠点として、官民連携を促進する仕組みの構築、運用を行い、行政だけでは解決困難な課題について協働による取り組みを促進していく役割が求められる。

以上のことから、本施設は、令和9年度までは民間への業務委託による運営とすることを基本とし、その後については、引き続き検討を進めていく。

◎ イメージ図





江南市

地域まちづくり補助事業

令和7年度分

募集要領

江南市地域まちづくり補助金は…

地域で活動する団体などが工夫を凝らして取り組む、地域がつながり地域を良くしていこうとする事業に対して補助を行い、地域の自治力を高めていくことを目的としています。

【定義】地域：おおむね小学校区以上の範囲

募集期間：令和6年10月1日(火)～11月30日(土)

問合せ・申請書などの提出先

江南市役所 企画課 政策・協働グループ

〒483-8701 江南市赤童子町大堀 90

電話：0587-54-1111（内線 348）

E-mail：seisaku@city.konan.lg.jp

FAX：0587-54-0800

※申請書などの様式は、企画課と地域交流センターでお渡しします。

また、市ホームページからもダウンロードできます。

（江南市ホームページ <https://www.city.konan.lg.jp/>）

サイト内検索で「江南市地域まちづくり補助事業」または、ページ番号から検索で「1001759」で検索してください。



◆目次

対象となる事業	1
事業例	2
事業者の要件	3
事業の要件	3
補助の対象となる経費	4
手続きの流れとスケジュール	5
応募について	6
説明会・相談について	6
審査・選考方法	6
事業の実施と成果の報告	8
その他	9
交付実績	9
申請書の記載例（つながろう！連携コース）	11
申請書の記載例（ひろげよう！展開コース）	16

◆対象となる事業

対象となる事業は2コースあります。どちらかを選択して、申請してください。

ひろげよう！展開コース

今、地域に何が必要で何に困っているか、地域で生活する住民だからこそ気づく地域の課題がたくさんあります。そこで「ひろげよう！展開コース」では、その解決の糸口となる地域住民の主体的な活動を応援し、この事業の実施が活動を充実させ、活動の展開・地域への定着につながることを期待します。

補助期間	補助金額	補助率
補助金の交付の決定を受けた日から、当該交付の決定を受けた日の属する年度の3月31日までの期間	上限10万円	上限80% (千円未満切捨て)

つながろう！連携コース

地域が今後、更に成長・発展していくためには、個々の団体の活動内容が充実していくとともに、複数の団体が力をあわせて地域の課題解決にあたることが大切です。そこで「つながろう！連携コース」では、団体間の連携を応援し、この事業の実施が活動分野・地域の異なった団体間のネットワークづくりへとつながることを期待します。

補助期間	補助金額	補助率
補助金の交付の決定を受けた日から、当該交付の決定を受けた日の属する年度の3月31日までの期間	上限20万円	上限90% (千円未満切捨て)

◆事業例

これまでは、市民活動団体のみなさんが、「市民目線」から課題（テーマ）を設定し、自分の得意分野の活動を通して、課題の解決を図る事業を提案いただいていたが、市民活動団体等によっては、地域課題の把握ができず、力を生かし切れていない面があるのではないかと考えております。

そこで、市が、市民活動団体等のみなさんに、課題（テーマ）を例示して、課題解決に向けて、意欲のある市民活動団体等より事業の提案を募集します。

今年度は、次を例示して、事業を募集します。

	事業名（担当課）	課題（テーマ）	事業内容（例）
1	SDGs 未来都市計画 推進事業 （企画課）	SDGs の目標を達成するためには、行政や企業、市民など、さまざまな主体が課題意識を持ち行動を起こすことが必要である。	SDGs 未来都市として、江南市全体で SDGs の目標達成に向けた取り組みを推進していくために、こどもたちへも SDGs の普及啓発を行う。

上記は、あくまでも事業例です。これまでどおり、上記の事業以外で、市民活動団体のみなさんが、「市民目線」から課題（テーマ）を設定し、自分の得意分野の活動を通して、課題の解決を図る事業も引き続き募集します。

◆事業者の要件

対象となる事業者は次のような団体です。

- ①区・町内会
- ②老人クラブ
- ③子ども会
- ④商店街振興組合
- ⑤PTA
- ⑥地域コミュニティ協議会
- ⑦NPO等市民活動団体 など

ただし、次の団体は対象外とします。

- ・政治活動または宗教活動を目的としている団体
- ・暴力団、暴力団員が役員となっている団体、または暴力団、暴力団員と密接な関係を有している団体
- ・過去に2回以上「ひろげよう！展開コース」で補助を受けた団体
- ・過去に「つながろう！連携コース」で補助を受けた団体

◆事業の要件

①両コース共通の要件

- ・営利を目的とした事業ではないこと
- ・商品の購入や製作のみを目的とした事業ではないこと
- ・地域の理解が得られる事業であること
- ・新たに始める事業であること。または、既存の事業であっても、補助を受けることで事業の拡大・発展等の効果が得られること
- ・この補助金以外の補助金などを受けていない、または、受ける予定のない事業であること

②つながろう！連携コースの要件

- ・2つ以上の団体が協力して行う事業であること
- ※なお、申請時に協力して行う団体間で、事業の実施及びこの補助金の申請に関して合意が得られていることを条件とします。



◆補助の対象となる経費

補助対象経費及び補助対象外経費

	補助対象経費	補助対象外経費
(1) 報償費	団体構成員以外の講師、専門家、出演者等への報償、謝礼 ただし、団体構成員であっても、他団体から派遣され講師等をする場合は、対象とする。 なお、講師等謝礼以外で使用する場合（参加賞等）は、補助対象経費の3割を上限とする。	<ul style="list-style-type: none"> 商品券等の金券の購入代金 記念品等の購入経費
(2) 交通費	講師との打合せなどの交通費等 （公共交通機関かタクシーなど領収書が発行される交通手段）	旅行を目的としたイベントの旅費 ガソリン代
(3) 印刷費	チラシ、ポスター、報告書等の作成費や印刷費	
(4) 消耗品費	材料、消耗品等の購入費 ※1品あたり1万円以上は物品費	
(5) 物品費	1品あたり3万円を超えないもの ただし、1万円未満のものは、消耗品費として計上する。	
(6) 通信料	郵便料、運搬料	電話代、FAX代
(7) 保険料	ボランティア活動保険などの保険料	火災保険、地震保険など、家屋にかかる保険料
(8) 委託料	専門知識、技術を要する業務など、事業の一部を外部に委託した費用	
(9) 使用料、賃借料	会場等の使用料、機器類の貸借（レンタル）料等	家賃（敷金、礼金を含む）
(10) 食糧費	講師の飲み物や熱中症対策など最低限必要な飲み物 <u>※原則として参加者には飲み物を持参するように呼びかけること。</u>	食事、アルコール類

※その他（事業実施のために必要な経費で、市長が認めたもの）が必要になった場合には、随時、設けることとする。

①その他の補助対象外経費

- 土地の取得、造成、補償に関する経費
- 団体の経常的な運営に関する経費（事務局経費など）
- 領収書等により支払ったことを明確にすることができない経費
- その他事業実施に直接関係のない経費、市長が社会通念上適切でないと認めた経費等

②参加者の費用負担について

- ○○づくり講座などで、参加者から材料費などとして参加料を取ることが適当な場合は、「この事業による収入」として計上してください。

◆手続きの流れとスケジュール

補助金の申請から交付、報告までは次のような流れとなります。
 交付決定は、交付年度に入ってから（4月1日以降）となります。

スケジュール	事業者	市	審査会
令和6年10月1日（火） ～11月30日（土）	申請書提出 →	受理	
令和6年12月中旬		指摘事項等の通知	
令和6年12月下旬	申請書再提出 →		
令和7年1月11日（土）	公開審査会		
令和7年1月中旬		← 審査結果通知	
令和7年4月1日以降		← 交付決定	
	概算払請求 →	補助金交付	
	補助金受領	←	
事業終了後	実績報告書提出 概算払精算 →		
令和8年2月～3月末 （未定）	公開での成果報告		
～令和8年3月31日（火）		← 補助金確定	

◆応募について

①募集期間

令和6年10月1日(火)～11月30日(土)※必着

②交付申請書

募集期間中に以下の書類を市役所企画課(11月30日(土)は、江南市地域交流センター)に提出してください。

メール(seisaku@city.konan.lg.jp)による提出も可能です。

(1) 江南市地域まちづくり補助金交付申請書

(2) 事業計画書

団体概要 ※団体の収支決算書または予算書、規約、会則等の添付必須

(3) 申請事業収支予算書

※交付申請書等につきましては、鉛筆、消せるボールペンで記入しないよう注意してください。

※申請書の提出にあたり、応募相談会に必ず参加してください。

◆説明会・相談会について

①応募説明会(任意)

補助制度や申請方法について説明会を行います。

日時 10月5日(土)午後7時30分～午後8時30分、

10月18日(金)午前11時30分～午後0時30分

場所 江南市地域交流センター 会議室1

申込 説明会の前日までに電話、申込フォーム

または直接江南市地域交流センター(TEL58-5771)へ

②応募相談会 ※申請書の提出にあたり、相談会に必ず参加してください。

募集期間中、事業計画の立て方や活動内容を的確に伝える申請書の書き方などについて、江南市地域交流センタースタッフが個別に相談に応じますので、この機会を必ず活用してください。事前に予約が必要です。

日時 10月1日(火)～11月30日(土)
午前10時～午後8時(木曜日を除く)

場所 江南市地域交流センター

申込 相談希望日の3日前までに電話、申込フォーム

または直接地域交流センター(TEL58-5771)へ

申込フォーム



◆審査・選考方法

提出いただいた申請書類に基づき、公開審査会で応募(申請)者の方にヒアリング(質疑応答)を行います。

※公開審査会に出席できない場合は、補助を受けることはできません。

①公開審査会

日時: 令和7年1月11日(土) 時間未定

場所: 江南市地域交流センター 会議室

審査員: 江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員

②審査項目と配点

「ひろげよう！展開コース」

審査項目		配点
(1) 目的の明確性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目標は明確か。 ・事業実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。 	10
(2) 公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・広く江南市民の役に立つ事業であるか。 ・地域の課題解決に役立つ事業であるか。 	10
(3) 社会状況・市民ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容であるか。 ・市民の共感が得られる事業であるか。 	10
(4) 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容、実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。 ・事業を十分に実施できる組織の体制か。 	10
(5) 情報の開示性	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。 ・事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすいか。 	5
(6) 展開性	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的活動、地域への定着・拡大が期待できるか。 ・補助期間終了後も、事業が継続される見込みはあるか。 	5
合計		50

「つながろう！連携コース」

審査項目		配点
(1) 目的の明確性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目標は明確か。 ・事業実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。 	10
(2) 公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・広く江南市民の役に立つ事業であるか。 ・地域の課題解決に役立つ事業であるか。 	10
(3) 社会状況・市民ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容であるか。 ・市民の共感が得られる事業であるか。 	10
(4) 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容、実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。 ・事業を十分に実施できる組織の体制か。 	10
(5) 情報の開示性	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。 ・事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすいか。 	5
(6) 先駆性	<ul style="list-style-type: none"> ・内容、手法に先駆性があり、新たな事業展開が考えられるものか。 ・行政が実施するより効果的または開拓的な事業であるか。 	5
合計		50

③採択方法

両コースとも、各審査員が地域まちづくり補助事業として3ページの事業の要件に適合しているか及び50点満点の評価を行い、審査員の過半数が適合すると判断し、かつ平均点が30点以上のものについて、地域まちづくり補助金の予算の範囲内において、点数の高い順から採択していきます。

(例) 予算120万円の場合(事業の要件に適合し、かつ平均点30点以上の事業を予算額内で採択)

点数	適合性※	申請額	採択
45	7/7	20万円	○
40	7/7	20万円	○
37	7/7	18万円	○
35	7/7	20万円	○
34	6/7	15万円	○
32	7/7	20万円	○
30	7/7	10万円	×
33	3/7	10万円	×
28	6/7	20万円	×

累計 113 万円

※適合性は審査員のうち事業の要件に適合すると認めた割合。
(審査員のうち適合するとした数
/総審査員数)

④交付決定、支払い

審査を経て、補助対象事業候補を決定しお知らせします。(1月中旬)

補助する事業と補助金の額の正式な決定は4月になります。

補助金は原則として概算払(全額または一部)でお支払いします。(4月下旬)

◆事業の実施と成果の報告

①事業の実施

令和7年4月～令和8年3月

②実績報告書

事業終了後速やかに、以下の書類を提出していただきます。

(1) 江南市地域まちづくり補助金実績報告書

(2) 実施報告書

※事業で作成したチラシやポスター、実施状況がわかる写真などを添付してください。

(3) 補助事業収支決算書

※必ず領収書(コピー不可)を添付してください。

③公開の報告会または掲示

令和8年2月～3月に、事業成果の報告会への出席または掲示をしていただきます。

◆その他

当市が必要と認めた場合は、事業の実施途中及び完了後に関わらず、事業に関する範囲内で調査及び監査を行います。

補助金の交付を受けた団体は、作成するチラシやポスターに「江南市地域まちづくり補助事業」である旨を明示してください。また、広報こうなんへの掲載やPRの場合への出席など、当事業の周知に協力してください。事業で作成したチラシやポスターなどは、実績報告書とともに提出していただきます。

「公正性」「透明性」を高めるとともに地域まちづくりの促進のため、補助金の交付額、事業内容及び活動報告等については、市ホームページへの掲載その他の方法により公表します。

◆交付実績

令和5年度江南市地域まちづくり補助事業

事業名	実施団体	事業内容
「みんな集まれ！」 ふれあいまちづくり	きらく会	小折町内の3地区の連携を深め、親子孫3世代の関わりから活力を創出することを目的に、子どもから高齢者まで幅広い年代層を対象とした様々なイベントを開催することで、地域住民同士のふれあいの場を提供します。
廃材活用プロジェクト	Little good	食品の廃材を使ったワークショップの開催、「コーヒーかすの活用法」の発信を通じて、生活の中から出る廃材を、活用できる「モノ」として意識を持ってもらい、SDGsをもっと身近に「ジブンゴト」としてとらえる機会を提供します。
SDGs ワークショップで 学ぼう！感じよう！ 考えよう！	えこすく (ecology school)	「SDGs」に親しむためのワークショップや観劇などを通じて、子どもたちが自分と環境・社会とのつながりに興味を持ち、視野を広げ、行動したいと思う機会を提供すると同時に、より多くの世代に「SDGs」について関心を持ってもらえることを目指します。
「こどもスイッチ」 ワークショップ 実施事業	こうなんこどもスイッチ	子ども達が「成功」や「自分だけの好き」を見つけることで、眠っている可能性を広げられるような、学校の学びに限らない幅広い体験機会を提供すると同時に、活動の発信により地域の大人が関心を持ち、運営や講師として関わる流れづくりを目指します。
地域とともに生きる 「自分探しの旅」 ＝つながれ☆がんばりペ アレンツ＝	KONAN 子育て委員会	子育て世代の悩みや不安を気軽にアウトプットする場や、女性たちのキャリアにまつわる悩みを相談する機会を設け、子育て中の皆さんが社会や家庭、自身に関する不安を緩和でき、それぞれの場で活躍できるきっかけになることを目指します。

令和6年度江南市地域まちづくり補助事業

SDGs ワークショップで 学ぼう！感じよう！ 考えよう！	えこすく (ecology school)	「SDGs」に親しむためのワークショップや観劇などを通じて、子どもたちが自分と環境・社会とのつながりに興味を持ち、視野を広げ、行動したいと思う機会を提供すると同時に、より多くの世代に「SDGs」について関心を持ってもらえることを目指し、次世代を担う子どもたちが周りを巻き込んでいく体験を通して、リーダーとなる意識をもっていくことを期待し、事業を実施する。
-------------------------------------	--------------------------	---

過去の交付事業等については、市ホームページでご覧いただけます。

(江南市ホームページ <https://www.city.konan.lg.jp/>)

サイト内検索で「江南市地域まちづくり補助事業」または、ページ番号から検索で「1001759」で検索してください。

◆申請書の記載例（つながろう！連携コース）

江南市地域まちづくり補助金（つながろう！連携コース） 事業計画書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

1 団体概要

※団体の規約または会則、直近の収支決算書または予算書を添付してください。（区・町内会、老人クラブ、子ども会、PTAは添付する必要はありません。）

※連携コースの同一団体での採択の上限は1回までです。

① 代表団体

名称	〇〇〇の会				
代表者	江南 太郎	設立年月	平成 20 年 4 月	会員数	10 人
住所	〒483-〇〇〇〇 江南市〇〇町〇〇〇〇番地				
連絡先	TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇		TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇		
	E-mail : seisaku@××△△.jp				
設立の目的・これまでの活動内容等					
<p>設立の目的：音楽を通じて心身を癒し、誰でも気軽に音楽を楽しみ、心穏やかに過ごすことのできる社会をつくることを目的に設立しました。</p> <p>これまでの活動内容：地域の老人クラブ、企業イベント等でコンサートを行っています。</p>					
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <p>団体の設立の目的やこれまでの活動を簡単にまとめる</p> </div>					

② 連携団体（複数ある場合は、記入枠を複写し、各々の団体分記載してください。）

名称	△△△クラブ				
代表者	江南 花子	設立年月	平成 21 年 4 月	会員数	48 人
住所	〒483-□□□□ 江南市□□町□□□□番地				
連絡先	TEL : 0587-□□-□□□□		TEL : 0587-□□-□□□□		
	E-mail : konan@〇〇××.jp				
設立の目的・これまでの活動内容等					
<p>設立の目的：地域の子どもに対して、文化活動、社会活動の機会の提供し、子どもの豊かな感性を伸ばし、青少年の健全育成に寄与することを目的に設立しました。</p> <p>これまでの活動内容：乳幼児保育事業、親子の自然体験教室、舞台・芸術鑑賞会、子育てに関する講演会や研修会を開催しています。</p>					

2 事業計画（令和〇〇年度に取り組もうとする活動内容）

今回申請する事業を始めようと思ったきっかけとなる地域課題や社会的な問題について記入（これまで団体でやってきた活動の課題ではありません）

① 事業名

気軽にクラシック

② 問題意識

事業をはじめようと思ったきっかけについて具体的に記載してください。

クラシック音楽には、ストレス解消やリラックス効果、心身の健康維持及び脳の活性化等の効果があります。

しかしながら、演奏会やコンサートと聞くと「敷居が高い」「堅苦しい」「騒がしくしてはいけない」等の理由から敬遠されがちです。

また、通常の演奏会だと休憩時間を迎えるまでに短くとも30分～1時間を超えることもあり、演奏が始まってからの退席は難しいことなどがあげられることから、子育て中のママは、小さな子ども連れではなかなか落ち着いて演奏を楽しむことができないのが現状です。

そこで、小さな子どもを持つ親子が参加できるよう、有名なクラシック曲からポップスまで親しみやすい楽曲を中心に、一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かすことができる参加型演奏会を実施します。

③ 事業の内容及び実施方法

内容、方法、場所、誰・何を対象に、どれだけなど、事業の具体的な実施内容を記載してください。また、組織体制、内容、手法、情報公開など、事業実施にあたっての工夫についても記載してください。

内容：有名なクラシック曲や最近のポップス、子どもに人気の楽曲を中心とした参加型演奏会

方法：キーボード、バイオリン、サクソ、ボーカル担当が各一人ずつ演奏します。

会場：市内の公民館、保育園、子育て支援センター、市民文化会館（音楽室）等

対象：誰でも参加可（主に子育て世代対象）

時間：1時間～1時間30分のプログラム

実施内容：有名なクラシック曲をはじめ、子どもに人気の曲をみんなで演奏し、参加することで、より音楽に親しみを持ってもらいます。また、リズムに合わせて体を動かすことで自律神経の健やかな発達を促し、心と体のバランスを整えるリトミックを行います。

周知方法：チラシを作成し、地区の回覧や保育園、子育て支援センター等で配布し、周知を図ります。

できるだけ具体的に記入

④ 事業のスケジュール

準備から事業終了まで、令和〇〇年度内のスケジュールを具体的に記載してください。

日程	予定
4月中旬	連携団体と打合せ、地区の代表者や保育園、子育て支援センターと会場・日程の打合せ
5月～6月	楽曲選定、楽譜と備品の購入、練習
7月～3月	各地区で演奏会
12月〇日	市民文化会館（音楽室）で演奏会
2月～3月	次年度の楽曲選定・練習

できるだけ具体的に記入

⑤ 期待される効果

地域住民や今後のまちづくりに向けてどのような効果が期待できるか記載してください。

楽器の演奏を近くで聴く事によって、日常生活では体験できない音や振動を直接肌で感じることができ、五感を刺激することでストレス解消とリラックス効果が得られ、心身の健康維持及び脳の活性化につながります。

また、子育て中の親子の交流を図り、参加形式にすることによって、感動したこと、楽しかったことを互いに伝え合うことで親子のコミュニケーションのきっかけになると考えています。

事業実施によって地域課題や社会的な問題にどのような効果があるのか記入

⑥ 将来展望 将来の事業展開について

※今後、どのように事業を継続、展開していきますか。補助期間終了後の活動について記載してください。

今後は、他の団体とも連携しながら、さらに多くの人に音楽を聴く楽しさを体験してもらえよう、演奏会の回数を増やし、小さな子どもからシニア世代まで参加者がいっしょにリズムを感じながら体を動かせるようなプログラムを考え、ストレス解消だけではなく、心身の機能向上と生活の質の向上などを目指していきたいと考えています。

⑦ 備考

その他、アピールしたいポイントなどがあれば記載してください。

申請事業収支予算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	気軽にクラシック
-----	----------

【支出】

(単位：円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
補助対象経費	報償費	20,000 (謝礼以外：0円) 講師謝礼(リトミック指導員)5,000円×4人=20,000円 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">講師等謝礼以外の報償費(参加賞等)は、補助対象経費の3割を上限</div>
	交通費	0
	印刷費	10,000 チラシ印刷代 5種類×2,000枚=10,000円
	消耗品費	42,204 楽譜(クラシック名曲集) 5,000円 楽譜 7,560円 延長コード 4,000円 マイク 7,400円、 マイクスタンド 2,800円 託児用マット 5,800円×2枚=11,600円 折り紙 540円 画用紙 540円 クレヨン 1,382円×2セット=2,764円 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">1万円未満</div>
	物品費	46,450 アンプ 29,800円 スピーカー 16,650円 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">1万円以上3万円未満</div>
	通信料	1,840 切手代 92円×20枚=1,840円
	保険料	24,500 来場者用傷害保険 10,000円 ボランティア保険 250円×58人
	委託料	20,000 楽曲アレンジ 1曲10,000円×2曲=20,000円
	使用料、賃借料	4,300 会場借上げ料(市民文化会館音楽室)2,150円×2区分=4,300円
	食糧費	1,250 スポーツドリンク(熱中症対策用) 125円×10本=1,250円
合計	A 170,544	
対象外経費	お菓子代	13,800 お茶菓子 13,800円 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">ガソリン代、電話代、家賃、食事等は対象外 (詳しくは、募集要領4ページ)</div>
	合計	13,800
合計	184,344	=「事業費総額」

「消耗品一式」など内容の分からない記入はしない
金額の内訳が分かるようにできるだけ具体的な数字を記入

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 B	10,000	参加者負担金 200円×50人=10,000円
地域まちづくり補助金 C	144,000	
自己資金 D	30,344	
合計	184,344	=「事業費総額」

※ **C**、**D** は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計 A	この事業による収入 B	補助率 (9)	地域まちづくり補助金 C
(170,544)	− 10,000)	× 9 /10	= 144,000

(1,000円未満切捨て)

「事業費総額」	この事業による収入 B	地域まちづくり補助金 C	自己資金 D
184,344	− 10,000	− 144,000	= 30,344

◆申請書の記載例（ひろげよう！展開コース）

江南市地域まちづくり補助金（ひろげよう！展開コース） 事業計画書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

1 団体概要

名称	〇〇〇の会				
代表者	江南 太郎	設立年月	平成 20 年 4 月	会員数	10 人
住所	〒483-〇〇〇〇 江南市〇〇町〇〇〇〇番地				
連絡先	TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇		TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇		
	E-mail : seisaku@××△△.jp				
設立の目的・これまでの活動内容等					
<p>設立の目的：音楽を通じて心身を癒し、誰でも気軽に音楽を楽しみ、心穏やかに過ごすことのできる社会をつくることを目的に設立しました。</p> <p>これまでの活動内容：地域の老人クラブ、企業イベント等でコンサートを行っています。</p>					
<p>※過去に展開コースで採択された回数（ 0回）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>団体の設立の目的やこれまでの活動を簡単にまとめる</p> </div>					

※団体の規約または会則、直近の収支決算書または予算書を添付してください。（区・町内会、老人クラブ、子ども会、PTAは添付する必要はありません。）

※展開コースの採択の上限は2回までです。

2 単年度事業計画（令和〇〇年度に取り組もうとする活動内容）

① 事業名	<p>今回申請する事業を始めようと思ったきっかけとなる地域課題や社会的な問題について記入（これまで団体で行ってきた活動の課題ではありません）</p>
<p>気軽にクラシック</p>	
② 問題意識	<p>事業をはじめようと思ったきっかけについて具体的に記載してください。</p> <p>クラシック音楽には、ストレス解消やリラックス効果、心身の健康維持及び脳の活性化等の効果があります。</p> <p>しかしながら、演奏会やコンサートと聞くと「敷居が高い」「堅苦しい」「騒がしくてはいけない」等の理由から敬遠されがちです。</p> <p>また、通常の演奏会だと休憩時間を迎えるまでに短くとも30分～1時間を超えることもあり、演奏が始まってからの退席は難しいことなどがあげられることから、子育て中のママは、小さな子ども連れではなかなか落ち着いて演奏を楽しむことができないのが現状です。</p> <p>そこで、小さな子どもを持つ親子が参加できるよう、有名なクラシック曲からポップスまで親しみやすい楽曲を中心に、一緒に歌ったりすることができる参加型演奏会を実施します。</p>

できるだけ具体的に記入

③ 事業の内容及び実施方法

内容、方法、場所、誰・何を対象に、どれだけなど、事業の具体的な実施内容を記載してください。また、組織体制、内容、手法、情報公開など、事業実施にあたっての工夫についても記載してください。

内容：有名なクラシック曲や子どもに人気の楽曲を中心とした参加型演奏会

方法：キーボード、バイオリン、サクソ、ボーカル担当が各一人ずつ演奏します。

会場：保育園、子育て支援センター、市民文化会館（音楽室）等

対象：誰でも参加可（主に子育て世代対象）

時間：1時間のプログラム

実施内容：有名なクラシック曲をはじめ、子どもに人気の曲をみんなで演奏し、参加することで、より音楽に親しみを持ってもらいます。

周知方法：チラシを作成し、地区の回覧や保育園、子育て支援センター等で配布し、周知を図ります。

できるだけ具体的に記入

④ 事業のスケジュール

準備から事業終了まで、令和〇〇年度内のスケジュールを具体的に記載してください。

日程	予定
4月中旬	保育園、子育て支援センターと会場・日程の打合せ
5月～6月	楽曲選定、楽譜と備品の購入、練習
7月～3月	各地区で演奏会を開催
12月〇日	市民文化会館（音楽室）で演奏会
2月～3月	次年度の楽曲選定・練習

事業実施によって地域課題や社会的な問題にどのような効果があるのか記入

⑤ 期待される効果

地域住民や今後のまちづくりに向けてどのような効果が期待できるか記載してください。

楽器の演奏を近くで聴く事によって、日常生活では体験できない音や振動を直接肌で感じることができ、五感を刺激することでストレス解消とリラックス効果が得られ、心身の健康維持及び脳の活性化につながります。

また、子育て中の親子の交流を図り、参加形式にすることによって、感動したこと、楽しかったことを互いに伝え合うことで家族のコミュニケーションのきっかけになると考えています。

⑥ 将来展望 将来の事業展開について

※今後、どのように事業を継続、展開していきますか。補助期間終了後の活動について記載してください。

今後は、さらに多くの人に音楽を聴く楽しさを体験してもらえよう、演奏会の回数を増やし、小さな子どもからシニア世代まで参加者がいっしょにリズムを感じながら体を動かせるようなプログラムを考え、ストレス解消だけではなく、心身の機能向上と生活の質の向上などを目指していきたいと考えています。

⑦ 備考

その他、アピールしたいポイントなどがあれば記載してください。

申請事業収支予算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	気軽にクラシック
-----	----------

【支出】

(単位：円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
補助対象経費	報償費	0 (謝礼以外：0円)
	交通費	0 講師等謝礼以外の報償費(参加賞等)は、補助対象経費の3割を上限
	印刷費	10,000 チラシ印刷代 5種類×2,000枚=10,000円
	消耗品費	26,760 楽譜(クラシック名曲集) 5,000円 楽譜 7,560円 延長コード 4,000円 マイク 7,400円、 マイクスタンド 2,800円 1万円未満
	物品費	46,450 アンプ 29,800円 スピーカー 16,650円 1万円以上3万円未満
	通信料	1,840 切手代 92円×20枚=1,840円
	保険料	11,000 来場者用傷害保険 10,000円 ボランティア保険 250円×10人
	委託料	20,000 楽曲アレンジ 1曲10,000円×2曲=20,000円
	使用料、賃借料	4,300 会場借上げ料(市民文化会館音楽室) 2,150円×2区分=4,300円
	食糧費	0
	合計 A	120,350
対象外経費	お菓子代	13,800 お茶菓子 13,800円
	お茶	6,000 打合せ用 125円×月4回×12ヶ月=6,000円
	合計	19,800 ガソリン代、電話代、家賃、食事等は対象外です。 (詳しくは、募集要領4ページ)
合計	140,150	=「事業費総額」

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 B	10,000	参加者負担金 200円×50人=10,000円
地域まちづくり補助金 C	88,000	
自己資金 D	42,150	
合計	140,150	=「事業費総額」

「消耗品一式」など内容の分からない記入はしない
金額の内訳が分かるようにできるだけ具体的な数字を記入

※ **C**、**D** は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計 A	この事業による収入 B	補助率 (8)	地域まちづくり補助金 C
(120,350)	− 10,000	× 8 /10	= 88,000
(1,000 円未満切捨て)			

「事業費総額」	この事業による収入 B	地域まちづくり補助金 C	自己資金 D
140,150	− 10,000	− 88,000	= 42,150

令和 7 年度江南市地域まちづくり補助事業審査要領（案）

1. 補助金の交付決定の方法

(1) 補助金は、江南市地域まちづくり補助事業審査委員会が申請事業について、補助金交付の適否及び補助金の額を審査し、その審査結果を受けて市長が決定します。

審査は、補助金の交付申請書類及び申請者への質疑応答の内容に基づき行います。

(2) 当該年度の予算要求額の範囲内で、審査基準に示す点数の高い順に対象事業を採択します。

2. 審査員（江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員）

江南市協働のまちづくり推進協議会委員のうち、互選された委員 5 名以内（学識経験者含む）と企画部長及び企画課長が、審査員として審査を行います。

専門性や中立的な立場から審査をするため、できるだけ申請者と直接関わりのない委員を選任します。

3. 審査基準

審査項目は、各コースで、次のような内容を判断の視点とします。

各審査委員が地域まちづくり補助事業としての適合性及び 50 点満点の評価を行い、審査委員の過半数が適合すると判断し、かつ平均点が 30 点以上の申請事業を地域まちづくり補助金の予算の範囲内において、点数の高い順から補助金の対象事業とします。（申請者と直接関わりのある委員は、当該申請事業の審査には参加しません。）

「両コース共通の項目」

(1) 目標の明確性

- ・ 事業の目標は明確か。
- ・ 事業の実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。

(2) 公益性

- ・ 広く江南市民の役に立つ事業であるか。
- ・ 地域の課題解決に役立つ事業であるか。
- ・ 市民の参加や参画が推進される内容になっているか。
- ・ 団体構成員の親睦または構成員相互の利益となる事業にならないか。

(3) 社会状況・市民ニーズの把握

- ・ 時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容になっているか。
- ・ 市民に共感が得られる事業であるか。

(4) 実現性

- ・ 事業内容は実現可能なものか。
- ・ 事業の実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。
- ・ 事業を十分に実施できる組織の体制か。
- ・ 事業内容と事業費のバランスはよいか（費用対効果はどうか）。

(5) 情報の開示性

- ・ 広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。
- ・ 事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすくなっているか。

「ひろげよう！展開コースの項目」

(6) 展開性

- ・ 発展的活動、地域への定着・拡大が期待できるか。
- ・ 補助期間終了後も、事業が継続される見込みはあるか。

「つながろう！連携コースの項目」

(7) 先駆性

- ・ 内容、手法に先駆性があり、新たな事業展開が考えられるものか。
- ・ 行政が実施するより効果的または開拓的な事業であるか。
- ・ 市民団体としての活動の特性が上手く活かされている事業であるか。

4. 補助事業実施報告会・評価

補助金実績報告書を提出するとともに、公開の報告会を開催しますので、その場において事業実施の報告または掲示等を行っていただきます。

◇令和7年度江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員

(任期は令和7年3月31日までとする。)

氏名	区分	備考
	江南市協働のまちづくり推進協議会委員	
	江南市協働のまちづくり推進協議会委員	
	江南市協働のまちづくり推進協議会委員	
	江南市協働のまちづくり推進協議会委員	
	江南市協働のまちづくり推進協議会委員	
平松 幸夫	企画部長	
矢橋 尚子	企画課長	

江南市地域まちづくり補助事業審査票

～ひろげよう！展開コース～

審査員名	
------	--

申請事業名	
団体名	

※該当する点数に○印をつけてください。

【満点50点】

① 目的の明確性

明確である	⇔	やや明確である	⇔	明確でない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

② 公益性

高い公益性がある	⇔	公益性がある	⇔	公益性がない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

③ 社会状況・市民ニーズの把握

十分把握されている	⇔	把握されている	⇔	不十分である						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

④ 実現性

実現性が高い	⇔	実現性がある	⇔	実現性がない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

⑤ 情報の開示性

十分である	⇔	ややある	⇔	不十分である	
5	4	3	2	1	0

⑥ 展開性

拡大・継続が見込める	⇔	やや見込める	⇔	見込めない	
5	4	3	2	1	0

評点合計	
------	--

江南市地域まちづくり補助事業の要件に適合しないと判断する場合はチェックしてください。	<input type="checkbox"/>
--	--------------------------

※審査員意見欄（特記すべき事項をご記入ください。）

江南市地域まちづくり補助事業審査票

～つながろう！連携コース～

審査員名	
------	--

申請事業名	
団体名	

※該当する点数に○印をつけてください。

【満点50点】

① 目的の明確性

明確である	⇔	やや明確である	⇔	明確でない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

② 公益性

高い公益性がある	⇔	公益性がある	⇔	公益性がない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

③ 社会状況・市民ニーズの把握

十分把握されている	⇔	把握されている	⇔	不十分である						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

④ 実現性

実現性が高い	⇔	実現性がある	⇔	実現性がない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

⑤ 情報の開示性

十分である	⇔	ややある	⇔	不十分である	
5	4	3	2	1	0

⑥ 先駆性

拡大・継続が見込める	⇔	やや見込める	⇔	見込めない	
5	4	3	2	1	0

評点合計	
------	--

江南市地域まちづくり補助事業の要件に適合しないと判断する場合はチェックしてください。	<input type="checkbox"/>
--	--------------------------

※審査員意見欄（特記すべき事項をご記入ください。）

協働のまちづくりと SDGs の取組について

令和 6 年 5 月に国から選定された「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」の取り組みを推進し、市の将来像として、第 6 次江南市総合計画にも掲げる「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」の実現を目指していくため、今年度から地域交流センターを拠点として、以下の事業を実施する。

1 事業内容

① 江南市 SDGs 登録制度の運用

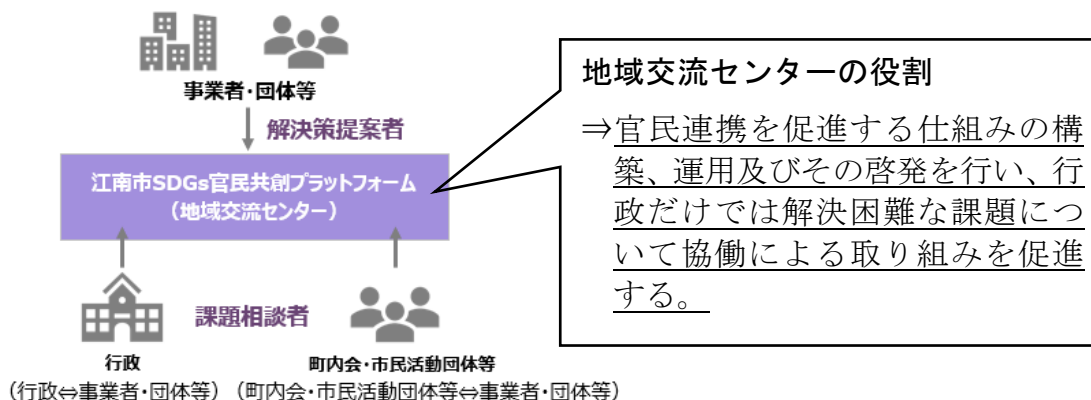
- ・ SDGs 達成に向けた取組を実施している又は実施予定の企業・団体*を江南市 SDGs パートナーとして登録する窓口を地域交流センター内に設置する。
※法人格を有しない、個人事業主や市民活動団体などを含む

② 江南市 SDGs 官民共創プラットフォームの構築

- ・ 官民連携を促進するため、SDGs に自主的に取り組む企業や団体等が持つ強みと地域課題をマッチングする場（プラットフォーム）を構築する。

③ コーディネーター等の配置

- ・ 多くの企業・団体等がプラットフォームに登録し、円滑なマッチングを行うことができるよう、コーディネーター等を地域交流センター内に配置する。



2 今後の予定

令和 6 年 10 月 10 日 (木) : 江南市 SDGs 登録制度受付期間
～11 月 8 日 (金)

令和 7 年 3 月 8 日 (土) : (仮) SDGs フォーラムの開催
(Home&nico ホール (江南市民文化会館))

3 月中 : 江南市 SDGs 官民共創プラットフォームの運用開始